

1 社会・治安情勢

サンパウロの治安は依然として回復の兆しを見せず、サンパウロ市及び周辺の都市においては、拳銃を使用した強盗事件や強盗殺人事件などの凶悪事件が昼夜を問わず多発している。また、パウリスタ大通りを中心に、様々な目的を掲げるデモが継続的に発生している。

2 一般犯罪・凶悪事件の傾向

(1)サンパウロ州保安局が公表した犯罪統計によると、今期は前年同期と比べ、殺人や強盗といった凶悪犯罪の発生件数は減少しているものの、銀行強盗は増加している。

邦人被害が多発している強盗事件は昼夜間を問わず発生しており、そのほとんどが拳銃を使用したものであることから、予断を許さない状況にあることに変わりはない。

(2)邦人被害

ア 7月13日午後4時頃、邦人がリベルダーデ地区グリセリオ通り44番先路上において信号待ちのため車両を停車させ、信号が青になったので発進しようとした瞬間、賊2名が現れて石のようなもので窓ガラスを破砕し、邦人が膝の上に置いていた現金、携帯電話等在中のリュックサックを奪われた。その際、被害者はガラス片で右手を負傷した。

イ 7月21日午前9時10分頃、邦人がジャルジン・パウリスタ地区マエストロ・シアファレリ通りとコンセレイロ・トーレス通りの交差点において信号待ちのため車両(防弾車)を停車させたところ、黒ずくめのバイクに乗った賊が拳銃を突きつけてきたことから、備付けのアラームを鳴らしたところ、賊は何も取らずに現場から逃走したものの。

ウ 8月21日午前3時30分頃、メインリキ市所在の邦人が居住する戸建住宅に銃で武装した複数の賊が侵入し、家族3人を縛り上げ別々の部屋に押し込めた後、現金、宝石類、携帯電話等を奪って逃走したものの。

エ 9月25日午前11時20分頃、邦人がラパ地区ロマ通り731番所在のイタウ銀行ラパ支店窓口で現金1万リアルを下ろした後、一つ下の階にある駐車場に降り、同僚が乗車して待機していた車両に向かう途中で拳銃を所持した賊に現金の入った封筒を渡すよう要求された。当該封筒を強取した賊は、駐車場に待機していたと思われる共犯者が運転するオートバイで逃走した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ事件の発生は認知していないが、現金を目的とするATMの爆破はサンパウロ市内を中心に多数発生している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害は認知していないが、今期誘拐事件は、サンパウロ州内で7件発生している。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当該諸問題に関する情報には接していない。

以上

在サンパウロ日本国総領事館

Av Paulista 854 Sao Paulo SP

TEL 3254-0100